

分野・部門横断的アプローチによる 災害に強い社会作り

ー仙台防災枠組の目標達成に向けた取組みー

科学的知識・知見に基づいて防災・減災の意思決定が行われるようにするためには、分野・部門横断的アプローチ（TDA; Transdisciplinary Approach）が必要である。本セッションでは、その実践例を紹介し、意思決定の仕組みや事例の背景にある災害の根本原因への取組みを議論することにより、仙台防災枠組の特にガバナンスの目標達成への道を探る。

- 主催：公益社団法人 土木学会 ACECC TC21国内支援委員会
- 日時：平成29年11月27日（月）10:45-12:15
- 会場：仙台国際センター 会議棟3階 小会議室8
- 申込不要です。直接会場にお越しください。（座席定員：66名）

プログラム

（プログラム、講演タイトルについては変更になる場合がございます）

- 10:45 - 10:55 TC21の概要とセッション開催の目的
竹内 邦良（TC21共同議長；山梨大学名誉教授）
- 10:55 - 11:05 TC21のこれまでの活動と今後の活動予定
荒木田 勝（TC21委員；アジア防災センター）
- 11:05 - 11:15 TC21の調査活動から考えられるTDAの有効性と今後の目標
倉岡 千郎（TC21委員；日本工営株式会社）
- 11:15 - 11:25 防災学術連携体のTDAの取組み
米田 雅子（防災学術連携体幹事；慶応大学特任教授）
- 11:25 - 11:35 インドネシアにおけるTDAの実践を通じた災害の根本原因に対する取組み
Harkunti Rahayu（TC21委員；バンドン工科大学教授）
- 11:35 - 11:45 台湾におけるTDAの実践を通じた災害の根本原因に対する取組み
曹 鼎志（Ting-Chi Tsao）（TC21委員；Sinotech Engineering Consultants, Inc.）
- 11:45 - 11:55 仙台防災枠組のガバナンスの目標達成に向けたTC21活動の意義とねらい
泉 貴子（TC21委員；東北大学准教授）
- 11:55 - 12:15 全体討議とまとめ
座長：竹内 邦良（TC21共同議長；山梨大学名誉教授）



問合せ先

勝濱 良博（ACECC TC21国内支援委員会幹事） a4766@n-koei.co.jp
日本工営株式会社 中央研究所 国際研究企画センター